

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記 大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

演題： 基礎研究から臨床応用へ：卵胞活性化療法の開発

講師： 聖マリアンナ医科大学

准教授 河村 和弘 先生

日時： 平成29年9月6日(水)17:30～19:30

場所： M&D タワー2階 共用講義室1

講演要旨：

卵巣内の原始卵胞は胎生期に形成され、少なくとも *in vivo* では出生後は新たに形成されることはない。原始卵胞数は加齢と共に減少し、残存卵胞数が閾値以下となると、休眠原始卵胞の活性化が停止し、発育卵胞のリクルートがなくなり閉経となる。また、40歳未満で閉経となる早発卵巣不全もある。これらの卵巣機能不全症例における不妊治療に最も効果的な方法は提供卵子による体外受精のみである。

我々は、このような患者が自らの卵子で妊娠可能とする新しい不妊治療(卵胞活性化療法; IVA: *in vitro* activation)の開発と臨床応用を行ってきた。IVAの開発には動物実験による基礎研究、ヒト検体を用いたトランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究)により非臨床 proof of concept (POC)を蓄積した。安全性試験を含めた一連の POC のもと、倫理委員会の承認ならびに患者の同意を得て IVA を開始し、2012年に世界初の IVA による妊娠・分娩に成功した。本講演では我々が行ってきた IVA に関わるこれまでの研究と最近の進歩について可能な範囲で紹介する。

【連絡先】疾患モデル動物解析学分野 金井正美 鈴木仁美 (内線 5984 5983)